

オールセラミック修復のための プレパレーションガイドライン

著 Gerwin Arnetzl & Gerwin V.Arnetzl / 監訳 篠原俊介

読者待望の日本語版ついに刊行!!
CAD/CAM時代のセラミック修復のための臨床バイブル



CONTENTS

- 1 オールセラミック修復におけるプレパレーションのガイドライン
- 2 歯牙の構造に求められる要件
- 3 セラミックの構造に求められる要件
- 4 付随する要件(インスツルメント, テクニックなど)
- 5 《症例編》オールセラミックによる部分修復のためのプレパレーション

●サイズ:A4判変型 ●72ページ ●定価:3,780円(本体3,600円・税5%)




クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp



必見!! オールセラミックの部分修復プレパレーションのすべてがこの1冊で丸わかり!



**2] クラウン
"エンドクラウン"**


- ・パラメジナル(歯肉縁)の精微マージン
- ・歯肉縁上の口唇側マージン
- ・約12°の開口角度をもとに歯髄腔中央のプレパレーション


**2] クラウン
"エンドクラウン"**

パラメジナル(歯肉縁)のマージンを用いた審美的要求の高い領域(歯肉一辺)

審美的にあまり要求の低い部分(口唇側)においては、歯肉縁上に形成することが可能であり、歯肉組織に優しいデザインである

歯髄腔における窩洞形成部から咬合面への移行部分は、この部分における応力を軽減するためにゆるやかな円形の移行部になっている





**5] インレー
"MOD インレー"**

- ・引張応力から圧縮応力への変換を考慮したプレパレーション
- ・不対称に働く輪型窩洞形成の回避
- ・すべての領域で流線形で丸い平滑な移行部分
- ・高咬移行部の突然の変化は起こらない


**5] インレー
"MOD インレー"**

製法の最薄部が1.5mm~2.0mmの最小値の厚さ

イスマスにおける最低幅は2.0mm

プレパレーションの刃鋒は中央あるいは外側にかかる咬合ピークの領域にはあってはならない

象牙質支持のある残存歯質が最低限2.5mm必要





**3] ラミネートベニア
"ラミネートベニア"**

- ・プロキシマルコンタクトの喪失と歯肉からの侵入方向に配慮されたラミネートベニア

**3] ラミネートベニア
"ラミネートベニア"**

単純なラミネートベニアからパーシャルクラウンもしくは3/4クラウンまでの隣接面まで拡大されたラミネートベニアの流線的な移行部分

フルクラウンのデザインを参照し、接着修復によって歯肉組織の健全性が保持される



----- きりとり線 -----

注文書

オールセラミック修復のためのプレパレーションガイドライン

冊注文します。

モリタ商品コード:805445

●お名前	●貴院名	●ご指定納入店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	
支店・営業所		

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定納入店がない場合は送料を頂き、代金引換宅配便でお送りさせていただきます。